

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズユー谷町		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童ひとりひとりに合った方法で、月に1度、クレヨンやハサミ、のり、紐通しなどを使った制作を行っている。	季節感を取り入れつつ、指先の巧緻性を高めることができるような作品を作る取り組みを行っている。	制作のテーマを職員間で話し合い、利用児童が楽しみながら取り組むことができるように検討していく。
2	理学療法士や作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、保育士、教員など、有資格者が在籍しており、複数の専門的立場からそれぞれの利用児童に合わせた療育を検討し、取り入れている。	特定の専門職が個別療育した際には、文書にしたり直接職員に共有するなど、なるべく細かく情報共有を行い、次の支援に繋げている。	引き続き密な情報共有を行いながら、利用児童に対しより良い療育を行うことができるよう努める。
3	利用児童に対し、園やご自宅への送迎サービスを行っている。	保護者の方が安心して送迎サービスを利用できるようにHUGシステムを使用し、来所・退所時に通知が届くようにしている。	今後も安全に配慮しながら送迎サービスを行い、自宅へのお送りの際には到着前にLINEにてご連絡をするなど、丁寧な対応を心がける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出イベントの実施があまりできていない。	外出イベントを実施する体制があまり整っていない。	職員を増員し、祝日など、利用児童の人数やスタッフの体制を考慮しながら、利用児童がさまざまな体験ができるようなイベントを検討していく。
2	地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	外出のイベントが少なく、まだそういった機会をあまり持つことができていないのが現状。	地域イベントの参加など他の子どもと関わることができるような機会を増やせるよう努める。
3	集団活動が難しい利用児童の対応	集団活動で椅子に座る、全員が同じ行動をするといった活動が難しい利用児童に対しての代替案がまだ少ない。	職員を増員し、別の活動に参加していただいたり、職員間で話し合いながら、それぞれの利用児童のペースに合わせた声かけ、関わりを検討していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズユー谷町		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長期休みの際や土日には、積極的に公園などに出かけ、身体を動かすことができるような機会を設けている。	室内遊びではできないような体を大きく動かす遊びを取り入れることができるよう、外で運動をする時間を作ることを心がけている。	あらかじめ利用児童にいつ公園に行くのかなど明確なスケジュールを伝え、1日の流れを把握してもらうことができるよう努めていく。
2	専門職による集団活動の時間を設けている。	余暇の時間とのメリハリをつけながら、なるべく全員が参加できるようなプログラムを作り、実施している。運動プログラムは理学療法士・作業療法士、SSTプログラムは心理士・保育士が立案している	参加したくない利用児童もいるため、その日のそれぞれの児童に合わせた参加方法で参加していただくことができるような取り組みをしていく。
3	職員が外部研修を受けることができる機会を設けている。	外部研修があればグループLINEで共有し、職員が研修を受けやすい環境づくりをしている。	引き続き研修の案内を職員に周知し、それを支援に取り入れられるような態勢を作っていくよう検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方向士が交流する機会をあまり設けることができていない。	時間調整の難しさがあるのが現状。	保護者の方のニーズに合わせながら、少人数でも交流する機会を設けることができるよう検討していく。
2	保護者の方に対して、災害などの非常事態が起きた際の対応や避難訓練などの実施結果の周知が不十分だった。	日々の活動の様子は伝えているが、具体的な避難訓練や非常事態時の対応などについてはあまりお伝えする機会がなかった。	HUGでのサービス提供記録を利用しながら、どういった避難方法を実施しているのかを具体的にお伝えできるよう努める。
3	職員間で活動プログラムを立案する時間をあまり設けることができていない。	活動プログラムは日々行っているが、その内容に関して職員間で十分な検討があまりできていなかった。	職員を増員し、日々の業務の中で職員間でミーティングの時間を設け、療育を充実させていくことができるよう検討する。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズユー谷町		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童が通う保育所等訪問を定期的に行っている。	園での利用児童の様子を共有し合い、その情報を生かした支援を行っている。	引き続き園と連携を取りながら、利用児童が安心して過ごすことができる環境づくりを行っていく。
2	園との情報共有の際には具体的に利用児童の様子をお伝えしている。	事業所での利用児童の具体的な様子をお伝えし、園の様子も丁寧にお聞きすることで、どのような関わり方が良いのかを職員間で話し合うことができている。	園の様子をお聞きするとともに、利用児童の園での様子をよく観察する。また、事業所での様子をお伝えしたり、専門職から関わり方などの提案をすることにより、園との信頼関係を築き、より密な連携を取ることができるよう努める。
3	プライバシーに配慮し、保護者の方との面談の際は半個室の部屋を使用している。	保護者の方が安心して相談できるようなスペースを設けている。	保護者の方が相談しやすいような環境づくりを引き続き行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の機会を設けることがあまりできていない。	家族支援プログラムを実施する体制が整っていない。	職員を増員し、職員の勉強会や研修会を通して、保護者の方のニーズに合ったアドバイスなどを行うことができるよう努めていく。
2	職員間での情報共有が書面でのやりとりになりやすい。	常勤職員、パートなど勤務時間の違いなどにより、常勤職員による毎朝のミーティング以外で、ミーティングをする時間を取ることが難しい。	書面での情報共有は引き続き行い、短時間でも非常勤職員の出勤時に直接的な情報共有を行う時間を作るようにする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ウィズユー谷町

公表日 2025年1月16日

利用児童数

20

回収数 13

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1		1	その分、公園などでの外遊びをしてください。今後の事業所内だけでなく、利用者様が楽しみながら様々なことを体験できるよう検討していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2			バリアフリーはされていない。階段のみの2階	2階にあるためバリアフリー化は難しいですが、安全には十分配慮します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			4		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		2	8	そのような交流があってもいいと思う	地域交流も大切な活動の1つだと考えますので、そういった活動への参加も検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		4	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11			2	もっと増やしていただいても良い	保護者の方の困りごとなどお聞かせいただくお時間を設けることができるよう検討いたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		5	7		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12		1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			9	して欲しいです	実施しております。避難訓練の様子など、サービス提供記録などを通してお伝えできるよう努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	1	2	入り口に施錠されていないので不審者が侵入したときのことが気になります。	事業所内から利用児童が飛び出さないようロック式のゲートは設置しておりますが、外部からに関しては職員間で検討します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	2		1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	2		1	ムラはあります	日々安心して来所していただけるよう尽力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			まだ日が浅いので何とも言えないところがあります。これから慣れて楽しく通ってくれたら良いなあと思っています。	最初は緊張されるかと思いますが、事業所で楽しく過ごすことができるようにより励んでまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ウィズユー谷町

公表日 2025年1月10日

利用児童数

8

回収数 2

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1		1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		1		1		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ウィズユー谷町

公表日 2025年1月15日

利用児童数

3

回収数

3

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2			1		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2			1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2		1			
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			2		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2			1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1		2			
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2			1		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2			1	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			1	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ウィズユー谷町		公表日		2025年1月16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		職員の数を増やす
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2			建物の構造上バリアフリーは不可能だが、可能な範囲で環境上の配慮を行う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1		全職員への業務マニュアルを作成し、日々ブラッシュアップしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		定期面談、毎朝のミーティング	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	本部のスーパーバイザーから助言をいただいている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		研修の機会が多い/随時、研修の案内あり	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	2		運動プログラムはPT,OT SSTプログラムは心理士、保育士で立案を行っていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		様々な職種によりプログラムを立案している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		毎朝ミーティングを実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	緊急時は職員共有チャットで報告。 毎朝ミーティングを実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		HUGシステムを活用し、 職員間で共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		保訪や関係者会議を実施している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		保訪や関係者会議を実施している	保護者様のご希望があれば積極的に行う
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		就学した児童はまだいない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	2	地域ではないがアクロス本部からの 助言を受けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		サービス提供記録にて利用日の活動の様子等を共有している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2			
4	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		定期モニタリングを実施	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		モニタリング、公式LINEにて対応	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		主にSNS、LINEを用いて発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		策定し職員間で共有しているがご家庭には周知していない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		業務日誌や事故報告書にて対応出来ている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ウイズユー谷町				公表日	2025年1月16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	職員の数を増やす	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	建物の構造上バリアフリーは不可能だが、可能な範囲で環境上の配慮を行う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	全職員への業務マニュアルを作成し、日々ブラッシュアップしていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		定期面談、毎朝のミーティング	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	本部のスーパーバイザーから助言をいただいている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		研修の機会が多い/随時研修の案内あり	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1	個別支援計画書をもとに支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	2	運動プログラムはPT,OT SSTプログラムは心理士,保育士で立案を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		様々な職種によりプログラムを立案している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		毎朝ミーティングを実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		3	緊急時は職員共有チャットで報告 毎朝ミーティングを実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		HUGシステムを活用し、 職員間で共有している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	2	1	個別支援計画・専門的支援計画書に盛り込んでいる	計画書に基づいた支援を行う
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		臨床心理士の助言を受けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		保訪や関係者会議を実施している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	1	学校とはなく、保護者と連絡を取り合っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	サポートブック等があれば申し送り、活用	保護者様のご希望があれば積極的に行う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		3	卒業した児童はまだいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	地域ではないが、アクロス本部からの助言を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3	研修の案内はされている	興味のある分野、必要な分野は参加していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		サービス提供記録にて利用日の活動の様子等を共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		定期モニタリングを実施	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		モニタリング、公式LINEにて対応	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		主にSNS,公式LINEを用いて発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1		策定し職員間で共有しているがご家庭には周知していない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		業務日誌や事故報告書にて対応出来ている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ウィズユース谷町		2025年1月16日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		対象児の課題に合わせて、 専門の職種が訪問するようにしている	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		文書にて報告書を作成し、 職員間で共有している	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	○		自己評価の際のアンケートや、定期面談、 公式LINEにてご意見をいただいている	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		3カ月に一度定期面談を実施し それぞれの目標を設定している	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	△		本部のスーパーバイザーに 助言をいただいている	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		随時研修の案内を行っている。	
適切 な支 援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		それぞれの分野の専門職に 助言をいただきながら作成している	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		個別支援計画を合わせて、 計画をもとに支援を行っている	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		デンバー式を用いてアセスメントを 行っている	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		文書にて報告書を作成し、 職員間で共有している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		毎朝ミーティングを実施	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	緊急時は職員共有チャットで報告。 毎朝ミーティングを実施している	非常勤職員への周知にタイムラグが発生する
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		お互いに尊重するよう 心がけている	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		毎回報告書を作成している		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		対象児の課題に合わせて、専門の職種が訪問するようにしている	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		まだ移行児童はいないが、保護者様のご希望があれば積極的に関わっていく	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		セラピスト間で勉強会を随時行っている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	△			参加頻度は少ない
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		サービス提供記録にて利用日の活動の様子等を共有している	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリング、面談、公式LINEにて対応	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		主にSNS,LINEを用いて発信している	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		対象児の課題に合わせて、専門の職種が訪問するようにしている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		対象児の様子を観察し、担当者と面談を行っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書を作成している	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		対象児の課題に合わせて、専門の職種が訪問するようにしている	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	△			策定し職員間で共有しているがご家庭には周知していない
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		業務日誌や事故報告書にて対応出来ている	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年1月16日

ウイズユー谷町

利用児童数

3

回収数

2

チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	1		お互い園と療育での様子を伝えあうことが多いと思います。聞いた様子から変化をつけたりはしています。	園での利用児童への関わり方を教えていただきながら、事業所でもより良い関わり方を日々検討していく
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	1		本児のことを考えていながら、進めていくことは少しずつできていると思うので、話し合う機会なども多く持っていけたらと思っています。	専門職からのアセスメントをお伝えし、密な情報共有を行っていく
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			療育先での過ごし方にもたくさん答えていただいて、実行はしやすいと思っています。	今後も事業所での様子をよく観察し、園の先生方と共有を行う
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	1		本児の成長につながることもたくさんあるので今後も続けていきたいです。	今後も園との連携を図りながら、よりよい支援を行っていく
5 事業所からの支援に満足していますか。	1	1		訪問支援員の方とお話した際に助言などももう少しいただけたらいいと思っています。	様々な職種による多面的な視点を積極的にお伝えしていく
其他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
今は、まだ本児の日中の活動、どういう風なあそび過ごし方、友だちとのふれあいなど、見てもらったほうがいいなと思う部分もまだまだあります。見てもらったうえで、話し合うこともこれからできるなと思っています。デイの職員と話をする中で過ごしている生活の様子を伝えあい、お互いにとり入れるところをとり入れあえていると思っています。				一人ひとりの利用児童に合わせた支援を行っていくためには、園との連携や情報共有が重要であると考えております。引き続き定期的に訪問させていただき児童の様子をよく観察し、また、先生方とお話をさせていただくことで、より良い支援に繋がってまいります。	